

AJCC

<AI注目馬>

2, 5, 7, 12

<最終見解>

本命はラーゴム。

父オルフェーヴルは今シーズン年末年始の中山芝重賞でも好調な「馬力型サンデー系」。

上がりタイムに限界のある馬で 34 秒前半の上がりを使わないと馬券になれない馬場が苦手な馬。

今回は上りタイム 35 秒台の脚でも馬券になれる馬場。

前走は芝 2000m がやや距離不足で内から位置を取る馬に有利なレースで外枠。今回は距離延長でスタミナを活かせる上に、上がりの負荷もさらにタフ。前走以上に条件が向く可能性は高いです。

ユーバーレーベンもステイゴールド系。
久々に速い上がりを使わずとも馬券圏内に入れる舞台。

レッドガランは昨年同レース勝ち馬と同じロードカナロア×欧州型の配合。近親にステイヤーのダンスインザダーク。

ガイアフォースは先週も中山芝重賞を勝ったキタサンブラック産駒。ただし、差しの人気馬は信頼できない種牡馬。短縮、乗り替わりで構える形になるようだと、絶対に差し切れるほど抜けた存在ではありません。

東海 S

<AI注目馬>

2, 13, 14

<最終見解>

本命はロードレガリス。

昨年の同レース勝ち馬と同じくハーツクライ産駒。松田騎手。

母系にサドラーズウェルズ。

土曜のダート中距離もサドラーズウェルズを持つ馬が好調な欧州指向強い馬場。